

本ワーキンググループの議論の位置づけ

○技術的事項の検討

今後のHPC技術の研究開発の検討WG (平成23年4月～7月)

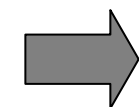
「今後のハイパフォーマンス・コンピューティング技術の研究開発について」(平成23年7月)

アプリケーション作業部会 コンピュータアーキテクチャ・コンパイラ・システムソフトウェア作業部会 (平成23年7月～平成24年2月)

「今後のHPCI技術開発に関する報告書」(平成24年2月)

将来のHPCIシステムのあり方の調査研究 (平成24年度から2カ年、現在公募中)

- ・システム設計研究チームとアプリケーションソフトウェアチームを公募。
- ・システム設計研究チームでは、技術動向調査、システム設計研究、システムソフトウェアの検討等を行う。
- ・アプリケーションソフトウェアチームでは、サイエンスロードマップの策定、評価用アプリの抽出、それを用いたシステムの評価等を行う。
- ・これらの活動をもとに、5～10年後の我が国のHPCIシステムに必要な技術的知見を獲得する。

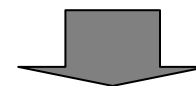


WGの議論
に反映

○政策に関する検討

今後のHPCI計画推進のあり方に関する検討WG(平成24年2月～)

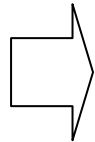
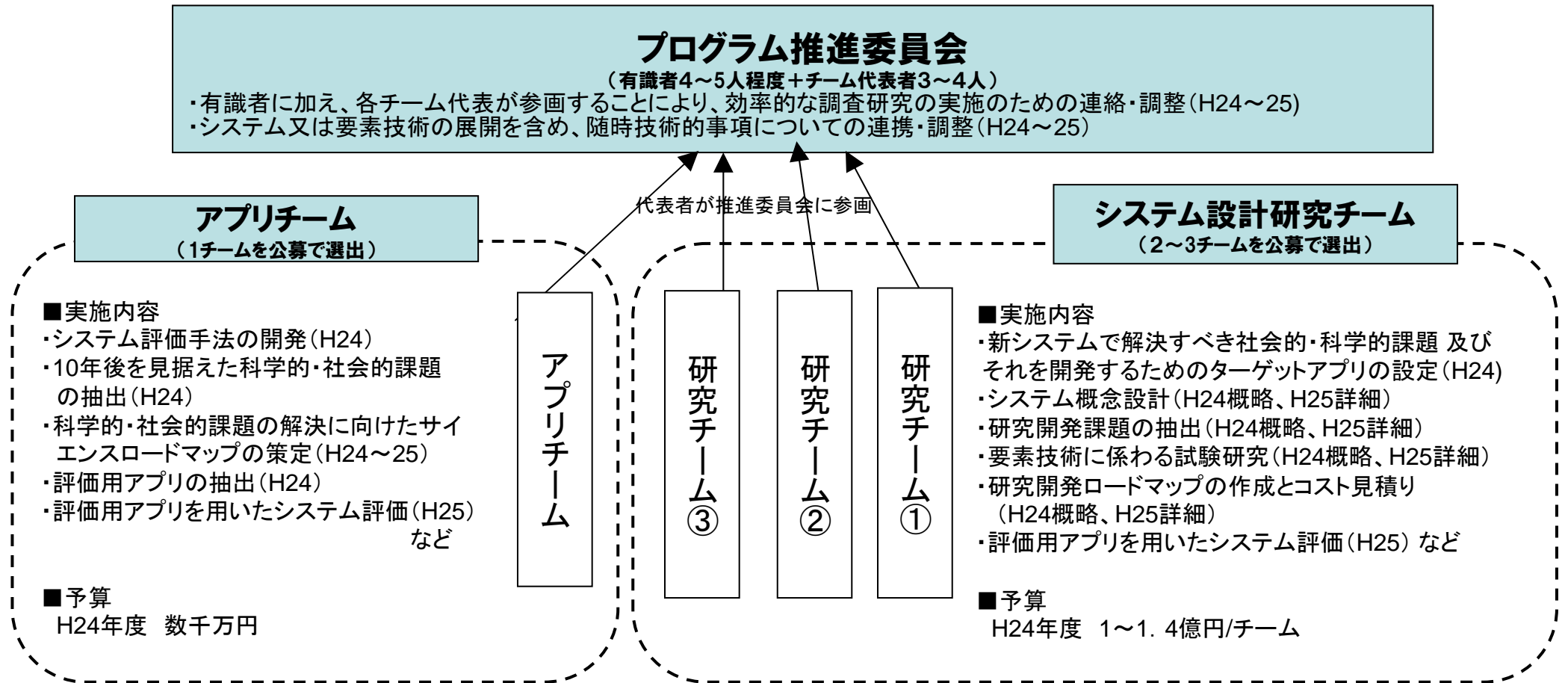
- ・ 今後10年程度を見据え、国内外の計算科学技術の動向、HPCIシステム構成のあり方、HPCI全体のネットワークや利用体制のあり方、今後の研究開発のあり方等について調査検討を実施。
- ・ 平成24年5月末頃に基本的な考え方、今後さらに検討すべき事項等を整理
- ・ 平成25年夏頃を目途に中間報告、平成26年3月頃を目途に最終報告をとりまとめ



HPCI計画推進委員会で今後のHPCI計画
推進のあり方を決定

将来のHPCIシステムのあり方の調査研究の実施体制について

(参考)



H24年度末に各チームの調査研究の状況について中間評価を実施し、H25年度の調査研究に反映する。
また、事業終了年度に各システムに関し評価を行い、その結果をふまえ、今後のHPCI構成システム等のあり方に反映。

各システムに対する具体的な評価項目については、以下の事項を想定。

- ・システムの評価アプリによる性能評価※、社会的・科学的課題の達成可能性
 - ・システム開発に必要な要素技術の実現可能性、その開発に必要な期間、展開可能性
 - ・システムの消費電力、耐故障性、信頼性
 - ・システム製造経費、設置面積、運用経費
- ※中間評価時はターゲットアプリによる評価